

2005年10月4日

各位

CKD株式会社
<http://www.ckd.co.jp/>

3Dはんだ印刷検査機「VP3000」発売のお知らせ

当社は実装業界で初めて、はんだ印刷検査の自動化を提案し3Dでのインライン検査機として多くのお客様から高い評価を頂き、国内最多の500台以上の納入実績をもっています。

今回この納入実績を踏まえ、業界の新しい基準となりうる最新鋭の3Dはんだ印刷検査機「VP3000シリーズ」を発売致します。

本機は2005年10月5日から7日まで、幕張メッセにて開催されます「2005実装プロセステクノロジー展」に出展いたします。

【開発の背景】

当社は「3次元はんだ印刷検査機」分野ではトップシェアを維持しており、年間150台以上を納入し、毎年30%以上の伸びを示しています。

2Dの検査装置をお使いのお客さまから「3Dを使いたい但取り扱いが難しい、スピードがもう少し速くなければ」との厳しいご要求があり、

今回この難しい課題を解決したフル3Dのはんだ印刷検査機を開発し、発売いたします。

近年、携帯電話やパソコンを初めとするデジタル製品において実装基板の高密度化がますます進み、チップサイズは0603（外形寸法 約0.6mm×0.3mm）から0402（外形寸法 約0.4mm×0.2mm）に、またICパッケージとしてBGA（注1）が多く採用されており、それらの実装ラインには3次元はんだ印刷検査機が不可欠となってきております。

注1 BGA (Ball Grid Array の略) :

半導体パッケージの一般的な構造であり、入出力端子を格子状に並べたもの。

【商品の特長】

- VP3000の最大のセールスポイントは、2D同等の簡単操作と基板__1枚あたり約1.4秒という2D以上の高速検査で、フル3D・全数検査を実現したことです。
- 従来の検査方式である「RGB位相シフト法」(注2)の計測システムを更に改良し、超高速・超高精度計測を実現いたしました。
注2 RGB位相シフト法：
CKD独自の計測方法で、カラーカメラを使用し3枚の画像を1度に取り込み、高速(1視野 約0.25秒)に計測を行います。
- 操作面においても、完全タッチパネル化やメニュー切替えにより、オペレータの負担を軽減し2D同等の使い易い検査装置です。
- 検査スピードを従来比で、最大1.7倍にアップしました。超高速生産ラインのタクトタイムに追従します。
- 水平分解能：8μmを標準機で実現しました。0.402パッド検査が可能です。
- 初期設定プログラム・検査プログラムを従来比で1/3に短縮し、2Dと同等の10分以内で設定できます。
- 機械操作が簡単になり、オペレータに高度な技能が不要になりました。
- コンピュータグラフィック処理により、検査結果画面を鮮明でリアルな画像を実現しました。不良対策の解決に威力を発揮します。
- 特殊光源の採用によりはんだペーストの異常反射対策を実現し、安定した高精度測定を保証しています。

【仕様】

- 対象基板サイズ：最小50mm×50mm、最大330mm×250mm
- 検査分解能：水平方向：8μm、12μm、18μm(出荷時固定)
- 検査項目：印刷されたクリームはんだの体積・かすれ・にじみ・突起・位置ずれ・平均高さ・ブリッジ等の検査

【販売価格】 定価：1,500万円

【販売台数】 年間：200台

【販売金額】 年間：約30億円

【販売開始】 2005年10月5日



【問合せ先】

CKD株式会社
総務部 坪井または杉浦
TEL0568-74-1238, FAX0568-71-4322

以上